

1-③ 子どもに示したい大人のふるまい

■対象：乳幼児～中学生の親

■時間：50分程度

■手法：カードワーク

学習のねらい 大人としてのふるまいを考えることによって、自分の姿をふり返り、子どもとともに自分自身も親として成長していこうという気持ちを培う。

準備するもの 動物カード 名刺大に切ったカード（コピー用紙でも代用可） 筆記用具
ワークシート【P.66】 アドバイスタイトム用配付資料

時間	学習の流れ	留意点	準備
	<p>【はじめに】</p> <p>今日は、子どもに示したい大人のふるまいについて一緒に考えてみましょう。その前に、ちょっと心と体をリラックスさせましょう。</p>		
10分	<p>【アイスブレイク】</p> <p>①握手リレー（P.100）</p> <p>②動物あて（P.99）</p>	<ul style="list-style-type: none"> グループに分かれた後、自己紹介をする。 	動物カード
30分	<p>《講座の前にルールとマナーを確認しましょう》</p> <p>【ワークショップ】</p> <p>①カードに記入する</p> <p>②カードを中央に置く</p> <p>③カードを引く カードがなくなるまで繰り返す</p> <p>④最後に残したカードについて、理由や思いを発表する</p> <p>⑤まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> できるだけ多く記入するように伝える。 どのカードも大切なものであることを確認する。批判しない。 そのカードを残した理由、ポイントとなったことについてコメントするように伝える。 	カード 筆記用具
8分	<p>【ふり返りと分かち合い】</p> <p>①学習をふり返って、気がついたことをワーク1、2にまとめる</p> <p>②グループで発表し合う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ワーク1、ワーク2は両方書いてもよいし、片方だけでもよい。必要に応じて使い分けるとよい。 全体に広げることができれば、取り上げてよい。 	ワークシート（P.66）
2分	<p>【アドバイスタイトム】</p> <p>いかがでしたか？ 子どもは親の姿を見て成長していきます。文部科学省発行の家庭教育手帳には、次のような記述があります。</p> <p>※資料 P.108「前向きな親の姿は、きっと子どもに届いている」「あなたの生き方が、子どもへの最高の教育になる」 P.116「子どもは親の姿を見て学んでいく」の中から状況に応じて選んで読む。</p> <p>《講座の最後にルールとマナーの確認をしましょう》</p>		配付資料

1-③ 子どもに示したい大人のふるまい

名刺大に切ったカードをグループに渡します。(各グループに 50 枚程度)

①カードに記入する (10分)



カードに「子どもに示したい大人のふるまい」を考えて、記入してください。簡潔に、思いついたまま、できるだけ多くカードを書きましょう。例えば、精神面や行動面、態度面などから考えてみましょう。ただし、1枚のカードには1つのことを書いてください。

※例えば・・・(下記参照)

時間は、8分です。

※例えば…

いつも笑顔でいる

○ 1枚に1つのこと

いつも笑顔でいたり、子どもとの約束を大事にしたりする

× 1枚に複数のこと

②カードを中央に置く (1分)

全員のカードを1つにまとめ、トランプのように切りましょう。そして、何が書いてあるか見えないようにして、グループの中央に置いてください。



③カードを引く (10分…カードがなくなるまで)



1人1枚ずつカードを引いてください。次のカードを引いた時、より大切だと思うカードを手元に残してください。どれも大切なカードですが、どちらか1枚だけに決めてください。選ばなかったカードは自分の前に裏返して置いてください。これを、カードの山がなくなるまで、繰り返しましょう。

④最後に残したカードについて、理由や思いを発表する (8分)

最終的に手元に残したカードは何ですか。グループで見せ合ひましょう。そして、なぜそのカードを残したのか、その理由や思いを発表しましょう。どなたからでもよいので、順に発表してください。



⑤まとめ (1分)



それぞれの理由や思いを聞き、どんなことを感じましたか？

では、今日の学習をふり返って、気がついたことや考えたことをワークシートに書きましょう。

ワーク1

参加されたみなさんのお話を聞いて感じたこと、気づいたことを書きましょう。

Blank writing area for Work 1.

ワーク2

子どもの手本になるために、親として、大人として、これからどんなことを大切にしたいと思いますか。

Blank writing area for Work 2.

